



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月26日

上場会社名 株式会社ハローズ 上場取引所 東  
コード番号 2742 URL <https://www.halows.com/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 利行  
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 花岡 秀典（TEL）086-483-1011  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年2月期第3四半期の業績（2025年3月1日～2025年11月30日）

## （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第3四半期	167,388	7.5	8,845	2.1	8,914	2.6	6,375	7.2
2025年2月期第3四半期	155,749	7.8	8,660	11.8	8,691	12.0	5,945	12.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	298.53	297.19
2025年2月期第3四半期	278.13	276.92

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期第3四半期	130,860	75,093	57.2
2025年2月期	112,869	70,428	62.2

（参考）自己資本 2026年2月期第3四半期 74,852百万円 2025年2月期 70,194百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	26.00	—	34.00	60.00
2026年2月期	—	34.00	—		
2026年2月期（予想）				34.00	68.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注2）2025年2月期の期末配当金は普通配当金26円に、営業収益2,000億円達成記念配当金2円及び増配6円を加え34円としております。

## 3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	224,218	6.4	12,320	0.4	12,360	0.5	8,590	△3.6	402.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    |

2026年2月期3Q	21,480,600株	2025年2月期	21,458,100株
2026年2月期3Q	139,318株	2025年2月期	72,318株
2026年2月期3Q	21,357,015株	2025年2月期3Q	21,375,718株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無  
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調及び雇用・所得環境の改善等が見られる一方、物価高、人手不足及び日々変化する国際情勢等の複合的な要因により先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界を取り巻く環境につきましては、様々な要因による物価の高騰等を背景に、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。一方、スーパーマーケット業界では、原材料の高騰等による商品価格の上昇を背景に、既存店の売上高は堅調に推移しました。

このような状況の中で当社は、次の取組を行いました。

経営面におきましては、2025年3月より250店舗体制で営業収益5,000億円を達成させる長期ビジョン「西日本5000億円構想」及び、2030年2月期までに140店舗体制で営業収益2,800億円を達成させる中期経営計画「瀬戸内2814計画」を開始しました。また、5月に当社の取締役（監査等委員である取締役、社外取締役及び非常勤取締役を除く。）に対して、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的に、譲渡制限付株式報酬制度を導入しました。更に、6月には経営環境の変化に対応した資本政策の遂行を目的とし、75,000株の自己株式を取得しました。

商品面におきましては、継続して重点販売商品の育成及び適切な品質かつ低価格を基本コンセプトとしたプライベートブランド商品のシェアアップを行いました。また、8月から岡山県立大学との共同開発による「栄養バランス弁当」第13弾を発売しました。

販売促進面におきましては、低価格販売を中心とした生活防衛企画並びに自社カード（ハロカ）及びアプリ（ハロプリ）会員に対する買い物優遇施策を継続しました。

店舗運営面におきましては、2025年3月に岡山県岡山市の花尻店、5月に広島県福山市の神辺モール店、7月に同市の手城店（売場面積600坪型標準店舗へ新築）、8月に香川県高松市の栗林公園店、10月に愛媛県四国中央市の三島店及び11月に広島県福山市の南松永店を改装し、買物がしやすい環境作りによる店舗の魅力アップを図りました。また、業務改善施策として、自動発注システム拡大に取り組みました。

店舗開発面におきましては、2025年6月に岡山県岡山市へ西古松店、7月に山口県宇部市へ宇部店及び9月に兵庫県姫路市へ砥堀店を売場面積600坪型24時間営業の店舗として新規出店しました。これにより店舗数は、広島県32店舗、岡山県28店舗、香川県15店舗、愛媛県9店舗、徳島県9店舗、兵庫県14店舗及び山口県3店舗、合計110店舗となりました。

社会貢献面におきましては、食品ロス削減の仕組みである「ハローズモデル」を中心に、各自治体、フードバンク事業関連団体及び各企業と連携した活動、並びに自社エコセンターによる資源の再利用化に取り組みました。また、店頭で回収したエコキャップの収益を2025年4月に自治体へ寄付し、地域との連携強化を図りました。なお、その他の取組につきましては当社ウェブサイトに掲載しております「ハローズサステナビリティレポート」にまとめております。

組織面におきましては、近年のインフレ環境に配慮し従業員の生活支援を目的に、2025年4月に正社員及び嘱託社員を対象とした賃金のベースアップ、並びに10月にはパートタイマーを対象とした時間給の増額を行いました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の営業収益は1,673億88百万円（前期比7.5%増）、営業利益は88億45百万円（前期比2.1%増）、経常利益は89億14百万円（前期比2.6%増）、四半期純利益は63億75百万円（前期比7.2%増）となりました。営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

また、当社は商品小売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末において、前事業年度末の財政状態と比べて主な変動は次のとおりであります。

資産の部においては、流動資産は、現金及び預金の増加83億5百万円等により、106億4百万円増加し336億44百万円となりました。有形固定資産は、74億7百万円増加し846億12百万円となりました。

負債の部においては、金融機関休業日のため、買掛金の未決済分115億57百万円等が含まれていることにより、流動負債は134億24百万円増加し390億23百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少3億81百万円、資産除去債務の増加1億56百万円があったことなどにより、98百万円減少し167億42百万円となりました。純資産の部においては、利益剰余金の増加等により、46億65百万円増加し750億93百万円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年9月26日に公表いたしました営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益の変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,851	22,157
売掛金	1,710	2,333
商品	4,761	5,043
貯蔵品	5	5
その他	2,722	4,115
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	23,040	33,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,695	77,053
減価償却累計額	△28,450	△30,608
建物及び構築物（純額）	42,245	46,444
土地	26,842	27,102
その他	17,899	21,379
減価償却累計額	△9,783	△10,314
その他（純額）	8,116	11,064
有形固定資産合計	77,204	84,612
無形固定資産		
その他	904	850
無形固定資産合計	904	850
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,318	3,398
建設協力金	1,159	1,093
長期前払費用	4,327	4,344
その他	2,914	2,917
投資その他の資産合計	11,720	11,753
固定資産合計	89,829	97,215
資産合計	112,869	130,860

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,331	24,276
1年内返済予定の長期借入金	3,219	3,282
リース債務	343	315
未払金	1,507	2,791
未払費用	1,706	2,592
未払法人税等	2,046	984
契約負債	3,287	3,546
その他	2,158	1,235
流動負債合計	25,599	39,023
固定負債		
長期借入金	7,054	6,672
リース債務	511	483
退職給付引当金	909	940
資産除去債務	3,860	4,017
預り建設協力金	943	1,006
長期預り敷金保証金	2,376	2,465
長期前受収益	905	935
その他	281	222
固定負債合計	16,841	16,742
負債合計	42,441	55,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,491	5,522
資本剰余金	5,444	5,489
利益剰余金	59,424	64,347
自己株式	△166	△508
株主資本合計	70,193	74,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
新株予約権	234	241
純資産合計	70,428	75,093
負債純資産合計	112,869	130,860

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	151,395	162,749
売上原価	112,606	121,557
売上総利益	38,789	41,192
営業収入	4,353	4,638
営業総利益	43,142	45,831
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,040	1,140
消耗品費	1,358	1,475
給料及び賞与	14,226	15,432
株式報酬費用	21	51
退職給付費用	53	50
法定福利及び厚生費	1,834	2,001
地代家賃	3,853	4,042
賃借料	217	219
水道光熱費	3,176	2,937
修繕費	836	877
減価償却費	3,295	3,693
租税公課	931	1,069
その他	3,636	3,994
販売費及び一般管理費合計	34,482	36,985
営業利益	8,660	8,845
営業外収益		
受取利息	17	21
仕入割引	19	17
受取保険金	17	35
受取負担金	7	22
その他	55	49
営業外収益合計	118	145
営業外費用		
支払利息	76	67
その他	10	8
営業外費用合計	86	76
経常利益	8,691	8,914
特別利益		
補助金収入	-	5
賃貸借契約解約益	-	2
その他	0	1
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産除却損	69	5
店舗閉鎖損失	57	-
その他	10	-
特別損失合計	137	5
税引前四半期純利益	8,554	8,916
法人税等	2,609	2,540
四半期純利益	5,945	6,375

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社は、商品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	3,295百万円	3,694百万円